

生涯学習センターけやきホールを利用される皆さまへ

火災や地震発生時の避難誘導についての注意

主催者の責務

- ・ホールをご利用になる前に、あらかじめ非常口の場所と非難誘導の経路を確認しておいてください。
- ・災害発生時のホール内の避難誘導は、主催者の方にも実施していただきます。お客様への避難方向の呼びかけ、負傷者の避難援助、けやき職員・消防職員への情報提供にご協力ください。

災害発生時の対応

1. 火災の場合

- ・火災ベルが鳴りましたら、パニック防止のため、お客様を落ち着かせてください。「落ち着いてください。館内放送に従って行動してください。」などと声をかけてください。
- ・館内放送等で避難指示があり、火災発生場所を把握したら、火災発生場所から離れた方向の非常口へ避難を呼びかけてください。
- ・ホール内、舞台上での火災の場合は、放送を待たずに火と逆の方向の非常口へ避難させてください。

2. 地震の場合

- ・強い揺れがありましたら、舞台上にいる方と舞台近くのお客様をホール客席後方に誘導し、非常口を開ける準備をしてください。(舞台と舞台側ホール天井には、多くの照明や音響装置などが吊り下げられていますので、落下の恐れがあります。)
- ・公演等をいったん中止し、館内放送等の指示に従ってください。
- ・津波の危険性がある場合は、けやきまたは市役所上層階に避難しますので、けやき職員・消防職員の指示に従ってください。

3. 共通事項

- ・避難の指示があった場合は、速やかに非常口を開け順番に避難させてください。その際、お客様を落ち着かせるため、「皆さん、落ち着いて避難してください。」などと声をかけてください。
- ・負傷者がいた場合は、周囲の方と協力して避難の援助をしてください。
- ・逃げ遅れた方がいた場合は、速やかにけやき職員・消防職員に報告してください。
- ・避難先は基本的にけやき西側（市役所側）駐車場です。(被害状況によっては、変更する場合があります。)
- ・停電した場合、非常用電源に切り替わり、避難に必要な照明が点灯するようになっていますが、不測の事態により非常用照明も点灯しない場合は、事前に確認しておいた避難経路をたどって避難誘導して下さい。
- ・エレベーターは絶対に使用しないでください。

裏面もご覧ください

※ 開演前アナウンス等で緊急時の避難方法について事前にお知らせをする場合は、以下の文を参考にしてください。

場内アナウンス例

ここで、緊急時の避難方法についてお知らせします。

ホールには緊急時の非常口として、お客様が入場されたホール後方扉と左右の扉、計3箇所があります。地震・火災等による緊急避難が発生した場合は、その非常口から避難しますので、避難誘導の指示に従ってください。

また、火災や地震等が発生した場合は、本番中であっても一時中断していただきますので、ご了承ください。

☆ 生涯学習センター本館（けやき）2階避難経路図

